

## 国際力動的心理療法学会第25回記念大会 「事例スーパービジョン」発表要項

以下の様式に沿って事例スーパービジョン資料を作成してください。

### 1. 発表要旨の作成

- i. 要旨は発表言語（日本語もしくは英語）で作成してください。日本語で作成した場合、発表タイトル、発表者、所属については英語でも記載してください。
- ii. 日本語の場合は2000字以内、英語の場合は500語以内で作成してください。
- iii. 要旨には、引用文献、画像、表、図、グラフや付録を載せないで下さい。
- iv. 事例要旨は、以下の様式でご提出ください。

①事例要旨の題名（20語以内）、②著者名と所属、③発表の目的、④事例の診断あるいは心理アセスメント、⑤治療計画、⑥事例概要（定性データ・処方へのオリエンテーション・臨床像・家族構成・来談経緯・事例経過を含む）、⑦検討ポイントの提示（「当日発表する」というような不明瞭な表現は避けてください。）、⑧キーワード3つまで。

- v. 下記の項目をキーワード選択の際の参考にしてください。

発達位相（幼児期、児童期、思春期、青年期、成人期、老年期）、病態水準（神経症水準、人格障害水準、精神病水準）、性別（男性、女性）、診断、査定、技法、セッション（外来、入院／病院、教育機関他）、力動的心理療法／個人心理療法／集団精神療法／コンバインドセラピー、トラウマ、PTSD、うつ、転移、抵抗、ワーキングスルー、精神看護、セルフケア、リエゾン精神看護

2. お送りしたテンプレートに上記様式に沿ってご記入頂き、下記の大会事務局のアドレスまでメールで添付してお送りください。添付資料には必ずパスワードを掛けていただきますよう、お願い致します。

大会事務局アドレス：[office25@25annual.iadp.info](mailto:office25@25annual.iadp.info)

3. 提出期限は、2019年6月30日（日）です。

### 注記：

- ・ 要旨をご提出される前に、共同発表者と内容の確認を行ってください。
- ・ 全ての事例検討発表は、該当関係団体の倫理規定、法律に則って行われたという条件の下で受理します。

### 要旨の受理と発表：

1. 事例選定審査委員会が事例要旨を精査し、2週間程度で発表者に結果を通知します。

2. 受理された事例要旨は、当日配布される抄録集に掲載されます。なお、受理された場合は、2019年8月15日（木）まで修正が可能です。修正をされたい方は、期日までに事務局のアドレスに修正版をメールに添付してお送り下さい。